

地理歴史科・公民科 略案

学校名	沖縄県立北中城高等学校	授業者名	
科目名	公共	学年・人数	1学年・各HR40名
実施場所	HR教室	実施日時	令和5年10月
教科書・出版社	『新公共』第一学習社	資料集・出版社名	

【学習指導要領上の位置づけ等】

学習指導要領	大項目B 政治的な主体となる私たち 主題5～7
単元名	国際社会の動向と平和の追究（主題5～7を一つにした単元で全9時間）
FQ	国際社会の中で、日本はどのような役割を果たし何に取り組んでいく必要があるか。
「未来課題」	国連職員として取り組んでいることを母校の中学生に紹介しよう！
本時の題材	今日の国際社会
本時のねらい	一体化と分断化という今日の国際社会で、国際協調のために何が重要か考察する。
MQ	平和な社会にするために何が一番重要か。

【本時の流れ（6／全9時間）】 I＝導入5分、II＝展開35分、III＝まとめ10分

時	学習内容・生徒の学習活動	指導上の留意点等	評
I 5	1. 本時のMQを立てる ①ウクライナ空爆やガザ空爆の写真から「非平和」を連想する。 ②MQ「平和な社会にするために何が一番重要か」を共有する。	①簡単に「日常」がなくなることに着目する。	
II	5 2. 東西冷戦とグローバル化 ①冷戦が資本主義諸国対社会主義諸国であることを理解する。 ②世界の「一体化」とグローバル化が進展したことを理解する。	①②マルタ会談前後の違いを明確にする。	
	15 3. 大国の覇権争いと脅威の複雑化・多様化 ①全体で写真からアメリカ同時多発テロ事件の様子を読み取る。 ②全体で写真からイラク戦争の様子を読み取る。 ③新聞記事を読み戦争とテロの相違点を考察する。 ④世界を「分断化」している要因（人種・民族・宗教）を考察する。	①②は地図上で場所を確認する。	
	10 4. 対立と分断を超えて ①国際協調に求められている連携・協力を確認する。 ②ダイヤモンドランキングで暴力をなくすためにできることを考察する。（個人→グループで共有）	②は4人グループで考察し、多様な考え方を共有する。	
III 10	5. 「平和力アップシート」 ①今日の授業を終えて今の気持ちを1つ選び○をつけ、その理由を「R80」で記入する。 ②国際社会への貢献度（%）を記入する。	時間があればペアで共有（回し読み等）する。	思 ○